



白河二中だより

NO. 25
2022. 9. 26
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

一つ一つの行事を大切に

ホームページでも随時発信しましたが、無事に修学旅行を終えることができました。

出発前に、『感謝の心』『礼儀正しさ』等を大切に、楽しく、有意義な3日間を過ごし、笑顔で帰校しましょう。」と伝えていましたが、添乗員さんやバスの運転手さんへのあいさつはもちろん、国会議事堂における上杉謙太郎議員や玄葉光一郎議員の話を聞く姿勢、また、集合時間をしっかり守るなど、素晴らしい姿が随所に見られました。



また、五感をフルに活用して各地を訪問し、「ライオンキング」などの本物を体感するなど、貴重な体験をすることもできました。これらの経験を今後の生活に活かし、さらに、成長してほしいと思います。

さて、先週は大型で非常に強い台風14号の影響を受け、予定されていた東西しらかわ中学校新人総合体育大会が1日延期して実施されました。

全ての部において今までの練習の成果を発揮し、粘り強く、そして、果敢に挑戦する姿が見られ、たくさんの方で入賞を果たしました。同時に、新たな課題も明確になったようですので、顧問やコーチとしっかりと話し合いながら、改善、解決を図り、さらに成長した姿で、今後開催される県大会への出場権をかけた大会に臨んでほしいと思います。

(結果については、朝の会等で全校生に紹介した後に掲載いたします。)

〔新聞委員会〕 委員長 河合 美桜
副委員長 藤田 厘 齋藤あんず

【活動目標】 期限を守り、楽しく見やすい新聞を作る。

A4版の用紙に、びっちり書かれた学級新聞が生徒昇降口に掲示されています。



各クラスそれぞれに様々な工夫を凝らしており、9月号を見ると、体験学習や新人戦に関する記事、授業で習ったことをさらに掘り下げた内容、社会情勢に触れている学級もありました。

来月には、紅葉祭におけるコンクールもあります。どのような内容で、どのような工夫が見られるのか、とても楽しみです。保護者の皆さんにも、学校へ行こう週間や三者面談の際に、是非、ご覧いただきたいと思います。

県のスローガン「ヘルメット かぶるだけでも 救える命」

一人一人が交通ルールを守り、正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、夕暮れ時のライト点灯など、道路交通環境の改善をすることによって、交通事故の防止の徹底を図るため、9月21日(水)から9月30日(金)までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されています。

登下校時や休日の交通手段として自転車を使用することの多い中学生には、県のスローガンをしっかりと心に留めてほしいと思います。

「秋の日はつるべ落とし」と言われるように、最近、日暮れも早くなりました。生徒全員が事故に遭わず、元気に登下校できるよう声をかけていきますので、ご家庭でも交通ルール等の確認をお願いいたします。



「今」

坂村 真民

大切なのは
かつてでもなく
これからでもない
一呼吸
一呼吸の
今である